

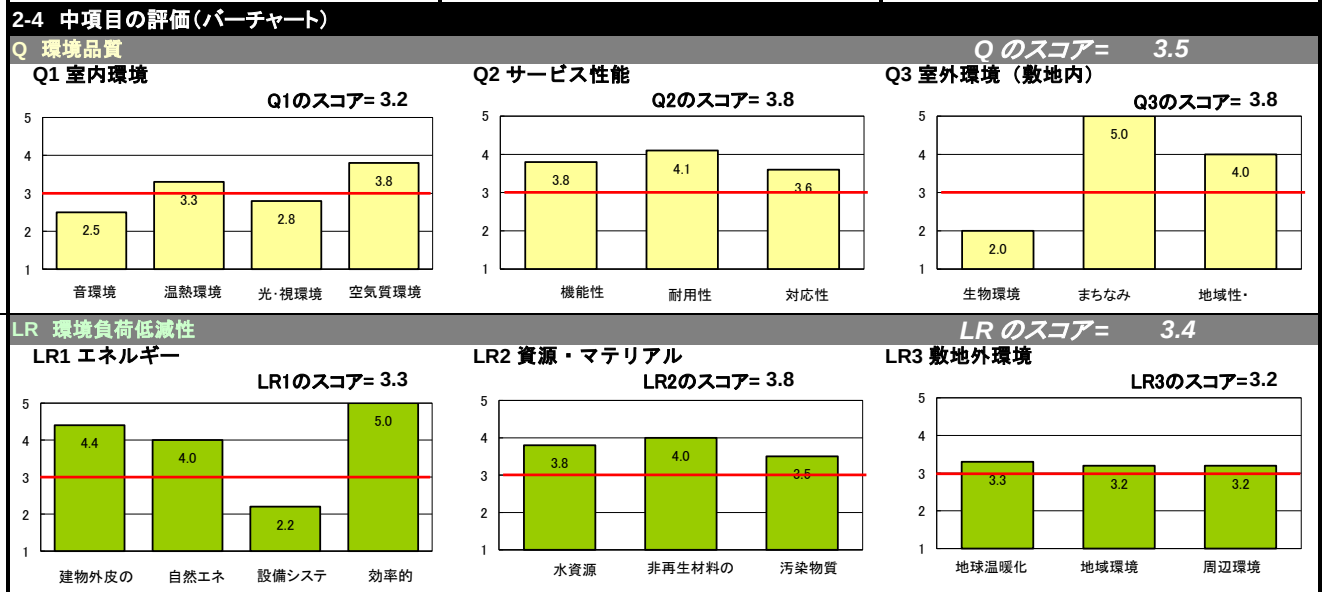
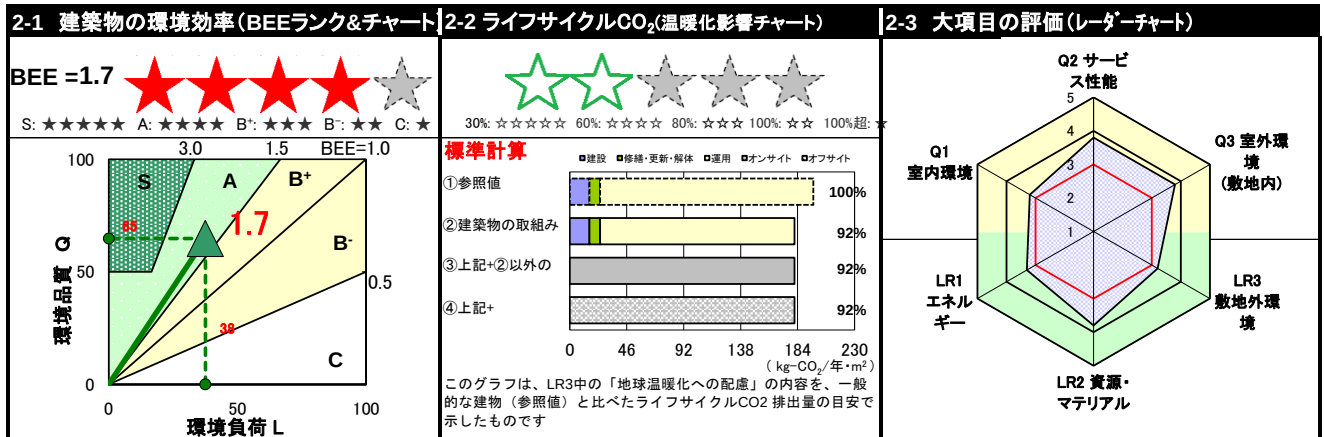
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島駅南口ビル新築他工事 南口ビル	階数	地上22F地下2F
建設地	広島県広島市南区松原町1番、2番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	37,900 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年12月13日
敷地面積	86,357 m ²	作成者	㈱大林組 広島支店
建築面積	17,728 m ²	確認日	2024年12月16日
延床面積	113,688 m ²	確認者	㈱大林組 広島支店



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.4		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.5	スコア= 2.6	スコア= 3.8
設計の計画に特段に配慮した事項 BPlm=0.88 / 交通広場上部にアトリウム設置 / 中央監視設備、BEMS設置 / 自動水栓に加え、節水型便器の採用 雨水利用水槽の設置 既存建築躯体の再利用 リサイクル材の多用 OAフロアの採用 / LCCO2排出率=92%	設計の計画に特段に配慮した事項 / 条例基準を満たす駐輪場、駐車場設置	設計の計画に特段に配慮した事項 給水管、排水管、通気管: B以上 / 主要設備の更新ルートを確認 配管展開スペース、機器更新通路利用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される